

木造都市研究会 木愛の会 主催

木造都市のルネッサンス

木の連歌

シリーズ part7

木造都市研究会「木愛の会」は、名古屋を拠点に研究会や見学会、提案など、木造都市実現に向けた様々な活動を行っています。会員募集中。

<http://www.kiainokai.net/>

木の連歌シリーズは、毎回異なる講師をお招きし、それぞれの木に対する思いや作品・研究をご紹介頂き、連歌方式で次の講師に引き継いでいく研究会です。初回はウィーン工科大学の谷篤子氏、第2回は大同大学の武藤隆氏、第3回は木愛の会の前代表世話人の田中英彦氏、第4回は九州大学の鶴飼哲矢氏、第5回は椋山女学園大学の清水秀丸氏、第6回は名古屋工業大学の藤岡伸子氏をお招きしました。第7回目となる今回は、永年、「伝統構法」にこだわって木造建築を実践されてきた、木愛の会世話人でもある建築家の東海林修氏にご登壇いただきます。木に関する議論をつなぐ「木の連歌シリーズ」にぜひご来場ください。

代表世話人 太幡英亮 (名古屋大学)

2017年 5月30日 (火)
19:00~20:30

丸美産業株式会社 会場
本社 5階会議室

名古屋地下鉄桜通線瑞穂区役所下車すぐ

参加申込先 木愛の会事務局
kiainokai@gmail.com

定員 30名 (申込期限: 5月23日)

参加費 学生・会員: 無料 一般: 1000円

東海林修氏

東海林建築設計事務所 代表

「木」が私たちに
語りかけるもの。

1954年、山形県出身。名城大学建築学科卒業。建築家、神谷義夫氏に師事した後独立。

以降、徹底して「木造住宅」にこだわり、「伝統構法」の家、「落とし板構法」の家に継続的に取り組む。東日本大震災の復興支援にも尽力するほか、永年にわたるA.C.C.(アーキテクト・コミュニケーション・クラブ)での勉強会開催や、木愛の会世話人など、多方面で活躍。

木の連歌メッセージ

東海林さんへ 2006年に電話を頂き、何か木に関連する、面白いことありませんか?に始まり、何回か準備段階の会議を数人で重ねました。高松伸会長から、木造都市研究会「木愛の会」という、妙を得た名称を付けていただき設立。かれこれ11年が経ちます。この会の立ち上げ、伝統木造及び、落とし板壁の板倉造りの構造研究会、そして長きにわたるACC、Eco住宅研究会、各々事務局と、それぞれの持続的な活動に敬服しています。頑固なまでに木造に拘り、僕は木造シカやりませんと、公言する姿勢は、長く木造を心底から愛し、研究・研鑽を重ねて来られた証で、賜物と思います。

東日本大震災における、板倉造り仮設住宅建設の取り組み成果も聞けると思います。

木の連歌シリーズで、遺憾なく語って頂けることを期待しています。 木愛の会前代表世話人 田中英彦

